

令和6年度 第2回福祉サービス運営委員会報告書

- 1 開催日時 令和7年3月13日(木) 14時03分～14時55分
- 2 会場 大分県福祉会事務局3階会議室
- 3 出席者 (第三者委員) 仲元研二氏 岡村邦彦氏 溝邊博見氏
(利用者家族委員) 梶 容子氏 仁田脇理帆氏 後藤小百合氏
(事業所委員) 安東一夫施設長 関谷眞佐子施設長 安藤 覚施設長 堤 郁夫施設長
阿南奈緒美施設長
(法人代表) 有松一郎理事長
- 4 欠席者 (第三者委員) 吉田 隆氏
- 5 次第 (1) 開会 (2) 理事長挨拶 (3) 委員長挨拶
(4) 議事(本部、各施設の報告、協議、総評) (5) 閉会
- 6 内容 有松理事長、仲元委員長の挨拶後、委員長の進行で事務局及び各施設の現状と苦情や要望等の状況報告及び協議

(説明・報告)

(1) 本部事務局

① 重点的取組、法人の現状について説明

新たな理念及びビジョンに基づき目指すべき将来像を実現するため、中期事業計画の着実な推進に努め、安定した経営を維持し、利用者や地域の皆様から理解と信頼を得られるよう課題を明確にし、取り組んでいることを報告した。

② 苦情 匿名による森の木内における職員間のいじめ、パワハラに関する投書をもとに理事長が職員の面談を実施。その結果、コンプライアンス上問題となるようないじめやパワハラにあたる事実は確認できなかった。

③ ヒヤリハット・事故報告～なし。

④ その他～なし。

(2) 別府厚生館

① 重点的取組・施設の現状について説明

- ・定員 16 世帯(暫定 12 世帯) 10 世帯 39 名が入所中である。
- ・入所の傾向は、県外からの DV による避難が多数を占め、利用者の安全を最優先した支援が求められている。
- ・施設の多機能化、高機能化を進める、安定した運営基盤づくりを進める、リノベーションを推進する、地域支援事業の創設を進めるなどに取り組んでいる。

② 苦情等について

- ・意見箱への投書 なし。
- ・口頭によるもの なし。

③ ヒヤリハット及び事故報告

- ケガ
 - ・1 歳児キッチンで転倒し割れたガラスで頭部から出血。→ 病院受診、抗菌薬処方。
 - ・5 歳女兒点鼻薬の使用を嫌がり暴れて転び右肘を脱臼する。

④ その他

- ・コロナ感染～1 家庭 2 名 インフルエンザ罹患者～5 家族 8 名 (4 歳児熱性けいれん発作)

(3) うえの園・清明あけぼの学園

① 重点的取組・施設の現状について説明

- ・支援ニーズの高い障がい者が安心できる居場所づくり、子どものウェルビーイングの実現、事業継続マネジメントの実践、人材マネジメントの推進、質の高い相談支援事業の提供、公益的事業の充実に取り組んでいる。
- ・うえの園 施設入所支援：20 名(定員 20 名) 生活介護：29 名うち通所利用 9 名(定員 20 名)。
- ・日中一時支援・短期入所定員 2 名。
- ・相談支援事業所：特定相談支援～計画作成並びにモニタリング数 276 件。
障害児相談支援～計画作成並びにモニタリング数 379 件。
- ・清明あけぼの学園 施設入所 10 名(定員 10 名)。
日中一時支援、短期入所 定員 2 名。

② 苦情・要望

- ・意見箱 うえの園：要望 次年度に向けての活動や行事について → サビ菅にて対応

③○ヒヤリハット（うへの園 3件、清明あけぼの学園 8件）

- ・随時、LINEWORKS や引継ぎなどで情報共有を行い注意喚起や改善などを実施

○事故報告（うへの園 11件、清明あけぼの学園 7件）

《うへの園》利用者間の他害4件 器物破損2件 服薬2件 爪切りにて出血1件 その他1件

- ・11/26 食後下膳時に50代男性が30代男性の腕をつかみ他害、対応中に職員の頬を噛みついた。
→ この時は、それぞれの障害特性を踏まえた距離をとった誘導ができずに接触したために事故が起きた。支援の確認と留意の更新。
- ・2/16 大分市議選の当日利用者の入場整理券が金庫に保管されたままになっていたため、50代男性が投票に行けなかった。→ 翌日サビ菅により謝罪をした。通常は、投票の意思確認を事前にする。スタッフルームに準備をする。などしていたが、今回は失念していた。入場整理券がなくても投票場に行き投票できることを職員間にて周知。→権利侵害にあたるとして、選挙に関するマニュアルの見直しを実施。
- ・3/1 50代男性が夜中にトイレに行き転倒 → 深夜帯もトイレの照明はつけたままにするよう周知。
- ・3/8 50代男性が1階トイレに名札や写真を入れトイレを詰まらせた。

《清明あけぼの学園》転倒1件 器物破損1件 服薬3件 公用車による事故2件 補聴器ボタン電池落下1件

- ・11/10 昼食後小2男児 転倒 左瞼のあざにより気付く。→ アイシングして様子を観察。特変なし。
- ・1/3 遊んでいるときにふざけて小3男児が小1男児のメガネをとり、さおの部分破損した。
- ・2/25 中2女児夕食後の菓のうち1錠を床に落としたまま気づかず後日発見した。
→ 手の震えがあり、菓の渡し方や飲み方の見直しをした。
- ・2/7 公用車を森の木の駐車場に止め、ドアを開けた際に風にあおわれ隣に停めていた職員の車に接触し、傷が入った。

④ その他

- ・新型コロナウイルス陽性者:うへの園 職員1名
- ・インフルエンザ陽性者:うへの園 職員1名 清明あけぼの学園 児童1名
- ・リスク管理委員会へ選挙に関するマニュアルの見直しを行うことと、児童についても点検をした。

(4)森の木

① 重点的取組と現状について説明

- ・安全安心に生活できる環境づくり、施設の高機能化・多機能化の推進、人材育成、職員のスキルアップ、働きやすい職場づくりの推進に向け取り組んでいる。
- ・本体施設 21名、地域小規模 8名。
- ・被虐待児童入所率（79.3%）発達障がい等（75.9%）ひとり親家庭（82.8%）。
- ・子育て支援事業（ショートステイ等196日、一時保護54人延942日）ゆずりは・HOPE相談等5902件。

② 苦情等

- ・聴き耳頭巾意見箱への投書（49件）
ユニット子ども間のトラブルに対する不満 → 事実関係を確認し、双方の言い分聴き取り調整。
- ・アボドケイトへの相談
学期ごとに実施。児童1名、家族交流がしたいとの意見表明。児童相談所へ伝えることとした。

③ ヒヤリハット及び事故報告

○ヒヤリハット

- ・本園グラウンドから自転車に乗った児童が道路へ飛び出し、職員の自家用車とぶつかりそうになる。

○事故報告

- ・高2男児が部活（バドミントン）中、ジャンプして着地した際に足首を負傷。左足第5趾中足骨骨折と診断され、10日間入院し手術を行う。
- ・職員が帰宅途中に賀来西の踏切で停車、遮断機が上がり発進しようとした際に、後続車に追突される。双方ケガなし。警察へ連絡、事故処理を行う。
- ・職員が自家用車でトライアル植田店へ。食材等を購入後、駐車場から出ようとしていたところ、侵入してきた車に衝突（運転席ドアを擦る）される。双方ケガなし。警察へ連絡、事故処理を行う。
- ・副施設長が園内環境整備（草刈り）の際、穴に足を取られ転倒、ろっ骨にひびが入る。
- ・寄付のお礼状の送付誤り。小出さん宛を小山さんに送付。小山さんには電話にて、謝罪と日頃の感謝を伝え、了承を得る。
- ・夕刻、自転車で帰園途中、イオン光吉店の駐車場出入口で乗用車と自転車の後部が接触。本児が車が出てきたのに気づきブレーキをかけたが、タイミングが合わなかったことによるもの。相手方が警察を呼び事故処理を行う。双方ケガ無し。自転車は反射板を修理。
- ・本園職員駐車場にて、女子ユニット職員が降車しようとした際、運転席ドアが風に煽られ隣に駐車していた他職員の車に接触し、傷が入る。

④その他

- ・感染症・・・新型コロナ（児童4名 職員6名）インフルエンザ（児童5名 職員2名）マイコプラズマ肺炎（児童2名）
- ※いずれも感染拡大及び重篤化はなし。

(5)滝尾保育園

① 重点的取組・現状について説明

- ・保育環境と保育内容の安定充実、職員研修の充実、働きやすい職場作り、公益的事業の充実に取り組んでいる。
- ・みらいの福祉施設「えんえん」開設準備に取り組んでいる。令和7年4月22日（火）完成、26日（土）見学会、5月1日（木）開所・事業開始、24日（土）落成式・マルシェ開催
- ・園児数224名（定員200名）、一時預かり登録児数38名、放課後児童育成クラブ在籍児数89名。

② 苦情・要望等 なし。

③ 事故報告

- ・噛みつき15件、発達段階での言語表現との関係によるものである。
- ・病院受診1件 午睡中に寝違え左腕肘内障。ひっかき2件 弁当渡し違い1件 投薬時間間違い1件
- ・下郡あおぞら公園の滑り台3段目から転落 1件

④感染症の状況

手足口病 29名、インフルエンザ 52名、感染症胃腸炎 39名、マイコプラズマ肺炎 18名、新型コロナウイルス 7名、その他 16名

⑤その他

- ・園内人権研修「人権感覚を磨く」の実施
- ・不審者対応訓練（研修）の実施

(6)明野しいのみ保育園

① 重点的取組・現状について説明

- ・子ども主体の保育、保育の質の向上、保育を通じてSDGsを学ぶ、ICT化のていちやくとDXの推進、働きがいのある職場づくりと保育現場の魅力発信、公益的事業の充実に取り組んでいる。
- ・園児数152名（定員152名）。

② 要望及び苦情 3/11 隣家の民生委員の方より電話で申し入れ。近隣の方が車で走行していたところ、保育園児（一部お散歩カート利用）が道の両側を歩行しており危ないとの話があったので気を付けてほしい。
→交通安全の意識の低さを注意。また、地域の中の保育園であることを改めて意識して保育活動を行うことを確認した。

③ ヒヤリハット及び事故報告

（ヒヤリハット）

- ・毎月リスク委員会で集計、職員に周知、11月～2月で41件。
- （園児）・噛みつき4件、転倒による怪我10件、遊具から落下2件、石や積み木を投げる2件
他～降園時、保護者より先に園庭に出て、蛇腹の門扉の隙間より園外に出てしまう。積み木で友達を叩く、ドアや遊具で手を挟むなど
- （職員）・給食提供時、乳児クラスで食べたことのない食材を誤って食べさせてしまった。（ハム）
→チェック体制確認
- ・不審者対応訓練の際、園庭で建物の陰にいた2歳児2名を見落とし、室内での点呼で気づく。
→反省点としてあげ共通認識をする。
- ・職員が散歩から帰ってきてポケットに入れていたスマホを落としたことに気づく。松栄山公園の落ち葉の中で発見。

（事故報告） 病院受診したもの（○歳児は学年齢）

- ・5歳女児）鼻血でティッシュを鼻の中に押し込んでしまい見えなくなる。耳鼻科受診し除去。
- ・3歳男児）室内で転倒し、椅子の角で目の横を打ち血が滲む。嘱託医受診、経過観察で終了。
- ・1歳男児）室内で転倒し、円卓で額を打つ。嘱託医受診、経過観察で終了。
- ・2歳男児）隣接公園で遊具の柱にぶつかり右目下を打つ。脳神経外科受診、経過観察で終了。

④ 病気・感染症等の状況

- ・インフルエンザA 29名 手足口病 12名 伝染性紅斑 12名 ウイルス性胃腸炎 4名、アデノウイルス 3名 RSウイルス感染症 3名 新型コロナウイルス 2名 突発性発疹 2名 溶連菌感染症 2名
- ・パート職員の入院 1名 勤務中のケガ 1名

⑤その他

- ・SDGsの一環として保護者会と話し合っって子ども服の「おゆずり会」を夏・冬に実施

(協 議)

○委員より

・うへの園、清明あけぼの学園：

利用者との適切な距離感の考えから電話をしにくくなっているため別の形で様子が知れると嬉しい。園の行事に参加できない高齢家族などがいる中、家族としては心配がある中、施設の状況が見えづらい。何気ない風景が家庭でも見えるようになると嬉しい。オンライン面会や人生会議の勉強会などに参加したい。

・森の木：

聞き耳頭巾の委員をしている中、たわいのない話に来てくれる環境がいい。投書箱の件数が減っているのが気になるので、気軽にポストに話したいと思うことを入れてほしい。

定員の調整について説明してほしい。

→小規模化の加算に対応して令和6年度までで経過措置が終わるためです。

・滝尾保育園：

「えんえん」ができて病児保育をしてもらえたら利用をしたいので、説明を聞きたい。

→ 病後児保育を実施予定。4月保護者会にて説明をする予定。

・明野しいのみ保育園：

SDGs とインスタの印象が強い年だった。SDGs は、子どもにとって楽しい経験ができていてこれからも続けてほしい。インスタでは子どもたちの様子がよくわかった。

→ 期待に応えられるようにしたい。インスタのための配信チームもあり、より良いものをつくるための研修も重ねている。今年度は、インスタの活用により人材の確保にも活かすことができた。

○岡村委員の総評

・各施設でのヒヤリハットやアクシデントへの情報共有や対応ができていることは素晴らしい取り組みができているようです。コンプライアンスについても、意識向上ができています。反面職員の働き方を拘束されることにもつながるので、職員の意欲を高める取り組みも併せて行ってほしいです。様々な、業務効率化を進めてほしいと思います。報告にもありましたが、LINEWORKS を実際活用していることはよい取り組みです。裁判も Web 上で資料提出や続きなどができるようになってきました。その結果出張が減り作業効率が進んでいます。法人でもツールの活用を進めていくとよいと思います。

○理事長あいさつ

委員の皆様からのご意見は、励みにもなり、ヒントもいただきました。「えんえん」については、何をしていくのか早く情報提供をしていきたいと考えております。限られた人材投入について課題や作業がたくさんありますが、今後は、AI を活用するようなことについても取組んでいく必要があるかと考えています。引続き役職一丸となり業務にあたってまいりますので、ご理解ご支援のほどよろしく願いいたします。

7 閉会

全ての日程を終了し、14時55分閉会。